

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月24日
明治大学の所属学部・研究科	情報コミュニケーション学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年1月24日
明治大学卒業予定年月	2025年3月
<b>留学先大学について</b>	
留学先国	フランス
留学先大学	リールカトリック大学(日本語名) Université Catholique de Lille(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語と英語/英語
留学期間	2022年8月~2023年1月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4月上旬~7月下旬、 2 学期/9月中旬~2月上旬	1 学期:8月下旬~12月下旬(学部によっては1月中旬) 2 学期:1月上旬~5月 3 学期:                      4 学期:
学生数	36,700(学部)
創立年	1875

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (€)	日本円	備考
授業料	0	0円	大学間協定の為、明治に学費を納めます。
宿舍費	500/月	75,000円	自分が選ぶ場所で変わります。
食費	400/月	60,000円	外食によって変わる。
図書費	0	0円	図書館は無料で使えます
学用品費	10/月	1,500円	ペンやノートなど必要に応じて
携帯・インターネット費	30/月	4,500円	携帯と Wi-Fi
現地交通費	30/月	4,500円	バスの定期で乗り放題になります。 ( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	400/月	60,000円	個人によって大きく変わると思います。多い月でこのくらいなので実際はもっと少ないです
被服費	60/月	9,000円	冬服やマフラーなど必要になると思います。
医療費		円	自分は病院に行っていないのでわかりません。
保険費		計 52,705円	形態:明治大学指定の保険です。
渡航旅費		計 232,000円 往路 147,000円 復路 85,000円	行きはハイシーズンだった事と予約がギリギリになってしまったので高くなっています。
ビザ申請費	50	7,700円	大使館で支払います。
雑費		円	交際費など月によって大きく異なるので明記できませんが、かかります。
その他		15,600円	EEF 登録料
その他		円	
合計	約 7,200	約 1,400,000円 (7,200€+渡航費 保険、ビザ代、 交際費)円	1€=150円 で計算。 少し多く見積もっています。

## 渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:成田国際空港 目的地:シャルル・ゴール空港 経由地:バンコク	
復路 出発地:シャルル・ゴール空港 目的地:成田国際空港 経由地:アブダビ	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Thai airline 料金:147,000	
復路 航空会社:Ethihad airline 料金:83,000	∴合計:230,000
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:Expedia )	
<input type="checkbox"/> その他( )	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Valentine Charrondiere)	<input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
All logment という大学付属の学生寮オフィスで申込ました。大学に出願して許可が下りたタイミングで住居についての説明がされるのですが、その際に紹介されると思います。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
私の寮はフレンドリーな人がとても多く、寮の中で親しい友人を得る事が出来たので結果的に満足はしていますが、設備自体は価格の割に良くない上に、壁は薄く、エレベーターの故障、ネズミの出没情報などがありました。清潔さや快適さを追求する場合はお勧めしませんが、共用部分(お風呂、トイレ)の掃除はクリーニングレディがやってくれること、友人を得やすいという面では強くお勧めします。個人的に私はもう一回寮を選べると言われても同じ寮を手配すると思います。	

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:外傷ではなく、1 ヶ月にも及ぶ熱や咳、倦怠感が症状だったことと、セキュリティソシアルという保険の加入申請中だったので行けず自力で治しました。しかしセキュリティソシアルに加入した後であれば、大学併設の病院なども利用できるようです。)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

情報はフランス大使館が指定したメールアドレスに送信してくれます。

携帯の盗難に遭いましたが、現地の友人や明治から来ていた子に助けていただき、保険会社に連絡、被害届の提出をしました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

おおよその場所では良好でした。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

三井住友銀行のカードを使っていましたが、transaction fee が掛かるので一気にヨーロッパの銀行に送金でも結果的に良かったと感じています。

N26 というインターネットバンキングがとても便利で、ヨーロッパの銀行口座が必要な場合に重宝していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

おおよその物は調達できますが、強いて言えば日本の食べ物や日本語で書かれた本など。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )	
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Business communication skills		ビジネスコミュニケーション
科目設置学部・研究科	FGES	
履修期間	FALLsemester	
単位数	2	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	少人数の講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に120分が1回	
担当教授	Devos Paul	
授業内容	ビジネス英語の授業です。イディオムや単語など様々です。	
試験・課題など	試験が中間と期末の2回。 試験は図をみて作文を書くものなので対策は難しいですが逆に単位を落とすことは無いともいます。	
感想を自由記入	先生がすごく好きでしたし和気あいあいとして気に入っていました。ただこの科目は他の先生も開講しているのですが、他の先生も授業に参加した際は雰囲気が好きではなかったです。 また、非ネイティブに対する英語の授業なのでとても受けやすく気楽でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
European Environmental Governance		ヨーロッパの環境政策	
科目設置学部・研究科	ESPOL		
履修期間	FALLsemester		
単位数	5		
本学での単位認定状況	5 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	WEILAND SABINE		
授業内容	EU における環境政策(様々な条約など)や環境政策の変遷について学びました。		
試験・課題など	中間と期末です		
感想を自由記入	内容は興味深くテスト勉強をしているのはすごく楽しかった上にヨーロッパに住んでいる期間はその地域への理解が深まるのはとてもいいと感じていますが、教授は PPT を読みあげている事が多いです。いい人且つ丁寧ですが面白さはないです。取らなければ良かったとは自分の興味と合っていたので思いませんが、内容に興味が無ければ本当につまらないと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
French		フランス語	
科目設置学部・研究科			
履修期間	FALLsemester		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回		
担当教授	Ben Haim Olivia		
授業内容	フランス語の文法、少しの会話		
試験・課題など	中間と期末		
感想を自由記入	初めにクラス分けの試験がありその点数で分けられます。上級クラスは会話やリーディングがメインになると思います。留学生用の授業なので他の留学生と会いやすくて良かったですし、フランス語は便利なので好きでした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
History of European Integration		ヨーロッパの統合の歴史	
科目設置学部・研究科	ESPOL		
履修期間	FALLsemester		
単位数	5		
本学での単位認定状況	SANDRI Giulia 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授			
授業内容	ヨーロッパの統合でその軸の考え方、EC、EUなどの遷移や条約など		
試験・課題など	中間と期末		
感想を自由記入	私は興味があった範囲なのでとても楽しく授業を受けましたまたテスト勉強している間も実用的な内容であると感じ楽しくノートを作って友人と勉強していました。具体的には日本から見るEUよりもやはりEU内から見たEUの方が詳細で楽しかったです、フランス人の友人が一番取っている中でテストも難しい上に好きじゃないと言っていたので人それぞれなんだなと感じました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japan : Work and Gender		日本の仕事における性問題	
科目設置学部・研究科	FGES		
履修期間	FALLsemester		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Scott Sachiko		
授業内容	日本の男女格差や文化について		
試験・課題など	最終的にPPTをグループで作って発表		
感想を自由記入	日本人の先生が授業をしています。授業では日本の男女格差が実際より酷く言われている気がして悲しい気もしたのですが、日本の授業なので、生徒は日本に興味がある事が多く、話せることも多く、そういう意味では良かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Understanding the world of work			
科目設置学部・研究科	FGES		
履修期間	FALLsemester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	Phillips Michelle(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授			
授業内容	日本でいう英語の授業です。		
試験・課題など	中間期末の試験		
感想を自由記入	英語の授業で受けやすいです。内容は文法はあまりなく PPT 作成。会話、リディングなどです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
French history		フランスの歴史	
科目設置学部・研究科	ESPOL		
履修期間	FALLsemester		
単位数	10		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	GREY Anderson		
授業内容	フランス革命からトゴールの時代について		
試験・課題など	中間、期末		
感想を自由記入	1番私が履修した中で、生徒に評判が悪かったです。(先生が変わればまた話は変わると思います) 実際先生の英語はスピーチをしているような声で分かりにくい上に PPT 写真だけ、更に授業内容も先生の分かりにくい話を聞くだけです、先生自体は良い人です。また留学生用の授業なので留学生と会えます。		



## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:教職課程の関係で25年度に卒業する為

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、

期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL 受験、出願
留学開始年	1月～3月	VISA 取得の準備など
	4月～7月	VISA 取得、履修登録、航空券購入
	8月～9月	渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	トップユニバーシティ留学に行く予定です
	8月～9月	帰国予定
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私のこの大学を選んだ理由は英語各種検定の点数、英語で開講されている授業が十分にある環境、ヨーロッパにある大学というものでした。3 つ目の理由について詳しく述べると、国境をまたぐと違う国、および公用語まで異なる環境になる感覚、また、環境やフェアトレードについての EU の対策への興味、および近隣の国と比較的友好的な関係を保ち EU として協力している事にも日本との違いを感じていたのでヨーロッパを渡航先に選びました。

もともと第二外国語ですら違う言語だった事や英語ですら自信もなく、渡航前はすごく不安になりましたし、ビザを取る手続きや住居関係の手続きは本当に頭がおかしくなってしまうのではないかというくらいのストレスを自分は感じました。

しかしながら一歩踏み出した先には日本では出来ないような経験、いまでも連絡を頻繁に取り合う親友と呼べる友人たち、美味しいパンやチズなど素晴らしい事が待っています。もちろん辛い事や上手くいかない事(留学先の大学は明治と比べて本当に統率かとれておらず事務所もミスなども多いですし携帯をすられた、言語の壁、勉強問題など挙げたらきりが無い)もかなり多かったです、それを加味しても大きく自分の人生において最も価値観が変わったと断言できる素晴らしい期間でした。

もしリルカトリック大学へ留学を検討している方がいらっしゃれば応援しています。